



親楽プログラムを活用した家庭教育支援の取組

忌部小・来待小(入学説明会)で親楽!!

2月5日(木)忌部小学校、6日(金)来待小学校において入学説明会で保護者交流を目的に親楽を実施しました。どちらの学校も新入生は、ほとんどが別々の幼稚園・保育所ですので、入学前に親同士のつながりを作りたいという願いからこの親楽を取り入れていただきました。

当日は、入学説明会で学校からの様々な説明を受けた新入生の保護者さんに30分間親楽プログラムを体験してもらいました。ネームカードに名前を書いて自己紹介(アイスブレイク)したら、さっそく「わが子への関わりで大切にしたいこと」というテーマでカードワークを行いました。

「うんうん!」や「確かに〜」「なるほど〜」など、グループからは様々な反応の声が上がり、親同士でこどもの関わり方について話が盛り上がっていました。入学前に顔見知りができる、安心して入学させられると保護者さんからも好評でした。今後ますます入学説明会で親楽を取り入れていただければうれしいです。



忌部小学校 家庭科室で!



来待小学校 図書館で!

放課後こどもプラン 関係事業の推進

こどものための学びあい支えあい講座「取組紹介」

2月20日(金)に松江市市民活動センター(STIC)にて開催しました。この講座は、児童クラブや放課後こども教室のスタッフさん向け講座で、年間10回開催します。今回は、最終回として児童クラブ・放課後こども教室の取組をもとに、参加者同士で情報交換したり交流したりしました。意東児童クラブは、「スタッフの長所を生かした役割分担やルールの徹底、機能的な室内環境の整備」を中心に、ふるえ子ども広場は、「こどもたちの『やりたい!』を支援する対応やスタッフ間、学校や公民館との密な連携」を中心に発表していただきました。

その後のグループワークでは、「えんたくん」を囲んで発表クラブの良かったところをグループで出し合ったり、自分のクラブ・教室の1年間をふり返り、成果や課題をグループで情報交換したりしました。次年度も充実した講座を10回実施できるよう計画しています。



意東児童クラブ
藤原さん

ふるえ子ども広場
長野さん

《参加者の感想》

- ・ 今日のような講座が多いとイイように思います。座学も必要ですが、情報交換等が1番現実的で分かり合えると思う。
- ・ 他の施設の実践を聞く機会を通して自分の施設の強みや改善したいことなど考えるきっかけになって良かったです。実践を参考にできる部分は活かしていけたらと思います。
- ・ いろんな取り組みがあってビックリしました。今後の参考にさせていただきます。うんうん...そうなんだあ...うちだけではなかった...安心して帰れます。



学校・家庭・地域が連携する取組 地域学校コーディネーター連絡会開催(第3回)

この連絡会は、各学園に配置している地域学校コーディネーターが、思いを共有しつながり合うことで、日常の業務に活かしたり、意欲の向上につなげたりする機会とすることを目的に年3回開催しています。2月26日(木)に松江市市民活動センターで3回目を開催し、今年度の振り返りや事例紹介等を行いました。

◆事例紹介 津田古志原夢きぼう学園(松江四中校区)

津田古志原夢きぼう学園では、ボランティア同士、ボランティアと教職員の交流を深めることを目的にした「ボランティアのつどい」が昨年度で10回目の節目を迎えたことから、今年度は各校ごとによる「ボランティアのつどい」に切り替え、取り組んだことを3名のコーディネーターが紹介しました。各校の特色が出ており、素晴らしい事例紹介となりました。

○松江四中 佐名木 CN

<内容>四中調理室で9班に分かれてカレーを一緒に作り、食べながら交流

- ・カレーライスを作る工程で自然と会話が生まれ、完成したものを食べたときはとても達成感を感じた。

○古志原小 山本 CN

<内容>ボランティアさん&先生方によるミニコンサートとおしゃべりタイム

- ・教職員とボランティアによる合奏に若い先生方がダンスで参戦し盛り上がりました。

○津田小 三浦 CN

<内容>ボランティアの方による活動披露とおしゃべりタイム

- ・ボランティアによる大道芸や手品等の披露があり、もっと子どもたちに出会わせたいと思った。



令和7年度 CN 活動の振り返り

<成果>

- ・図書・家庭科・水泳見守りなどの活動が安定し、PTA や地域団体との連携が強化。中学生の地域活動も広がり、キャリア教育との結びつきが深まった。
- ・PTA 総会での PR や名刺、便り、PDF 配信など、各校の広報工夫が参加者増につながった。
- ・図書ボランティアが組織化され、司書との役割分担が整い活動が円滑に。
- ・職員会での紹介や計画提示により CN の役割理解が進み、学校側の協力体制も強まった。

<課題>

- ・複数校担当や SSS 兼務で時間が不足し、中学校支援が手薄になりやすい。
- ・ボランティアの高齢化や PTA 参加率低下により新規確保が難しい。
- ・ICT 操作の苦手さや連絡手段の制約、作業場所不足が業務効率に影響している。
- ・家庭科・水泳・職場体験など依頼が特定時期に集中し調整が難しい時がある。
- ・個人情報の制約で広報が難しく、活動の見える化が進みにくい。

お問い合わせ先

生涯学習課(川神 拓人)

TEL 55-5288

FAX 55-5543

E-mail:s-kikaku@city.matsue.lg.jp



学校教育課

学び推進係(富谷 衡)

TEL 55-5341

FAX 55-5251

E-mail:manabi@city.matsue.lg.jp



バックナンバーは
こちらから